

米FOMC：政策金利を据え置き、長期金利上昇で金融環境がタイト化と指摘

■ 今回米連邦公開市場委員会 (FOMC) のキーポイント

FOMC 01 利上げ見送り、政策金利幅は5.25-5.5%維持

➢ 2023年内あと一回の利上げ姿勢は継続(図1)

FOMC 02 長期金利上昇等から金融環境はタイト化

➢ 声明文でも金融市場の引き締めりを認識

FOMC 03 市場の利上げ織り込みは大幅に低下

➢ 金利引き上げ局面は終了との見方が広がる(図3)

米連邦準備制度理事会は10月31日-11月1日に今年7回目のFOMCを開催、日本時間2日未明に結果が公表されました。

■ FOMC後は国債利回りが大幅低下、株価は上昇

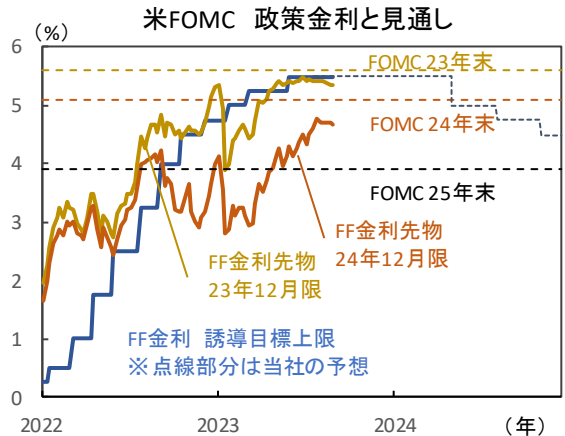
今回のFOMCは、声明文で金融環境が引き締まったとの指摘が追加され、夏以降大幅に上昇した米長期金利が意識されている模様です。市場は政策金利据え置きや追加利上げ姿勢の維持を見込んでいましたが、想定よりもタカ派な姿勢が示されなかったとの見方が広がっています。これらを受け、直後の市場では国債利回りが大幅に低下。また、FOMCに先んじて発表された米財務省の四半期定例入札で国債増発額が市場の事前予想を下振れたことや、ISM製造業景気指数の低下なども、利回り低下の材料になった模様です。米10年債利回りが約0.20%と大きく低下するなか、金利動向に敏感なグロース株中心に株価も上昇しています。

■ 利上げサイクルは終了か？ただし、年末にかけて政府閉鎖のリスクも残存

今利上げサイクルでは、2022年3月から2023年7月にかけて計11回の利上げが実施され政策金利は5.25-5.50%に到達、2008年の金融危機直前を上回る水準です。足元では個人消費が好調なもの、信用環境の引き締めりから今後減速する見込み。労働市場のひっ迫感も解消されつつあり賃金の伸びも鈍化しており、物価全般も鈍化傾向にあることから、今回の利上げサイクルは終了したとみられます。今後は来年半ばにかけ、当局は利下げ開始のタイミングを慎重に探り、来年末までに累計1.00%ptの利下げを行うと予想します。

ただし、足元で高止まる長期金利が低下するには時間を要するでしょう。米財政赤字の拡大による米国債発行増など需給悪化も懸念され、長期金利はもみ合う展開も予想されます。11月17日に政府つなぎ予算が失効すれば政府閉鎖などの混乱を招く恐れもあり、次回12月FOMCまでの間、金利の変動が高まる可能性が高いと考えられます。(清水)

【図1】政策金利は据え置きも年内追加利上げを示唆

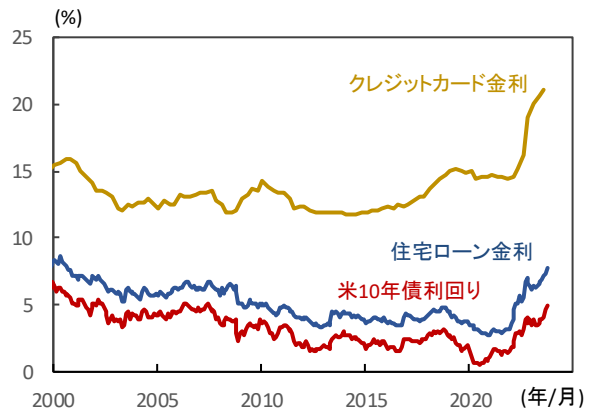


注) FF金利先物(市場参加者の予想する将来の政策金利水準として使用)は週次データ。直近値は2023年10月27日時点。チャート内の点線は2023年9月時点のFOMC参加者による政策金利(各年末)の見通し中央値。

出所) FRB、Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】長期金利上昇等から借り入れ金利は急上昇

米10年債利回りと主要な消費者借り入れ金利

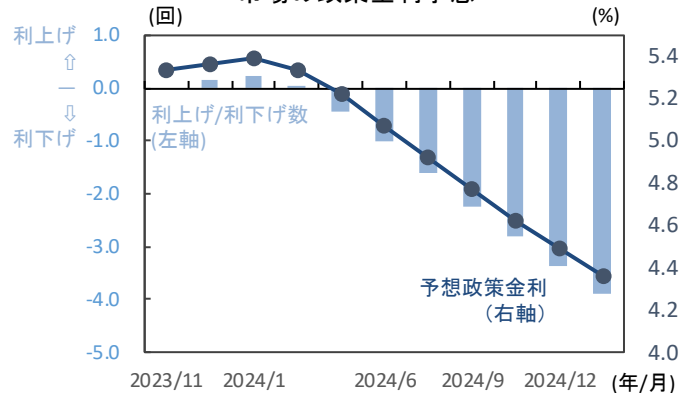


注) 住宅ローン金利は固定30年、クレジットカード金利は全口座を対象。月次データを使用し、直近値は全て2023年10月末の値。

出所) Bloomberg、米フレディマック、米FRBより当社経済調査室作成

【図3】金利引き上げ局面は終了との見方が広がる

市場の政策金利予想



注) フェデラルファンド金利先物の織り込み予想政策金利。一回当たりの利上げ幅は0.25%として計算。2023年11月2日時点のデータを使用。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘を使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会